

令和 7 年度

学校自己評価表（計画）

学校運営計画				
学校運営方針	(1) 主体的に学ぶ姿勢を養うとともに、確かな学力を定着させる (2) 豊かな人間性を育み、共感や連帯を共有できる人間力を養う (3) 元気のでる、さわやかな学校づくりに取り組む			
三つの方針(スクール・ポリシー)				
育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	① 全日制普通科の高等学校として、生徒一人ひとりの多様な進路に対応するために、知・徳・体のバランスのとれた総合的な力をつける教育活動を展開します。 ② 協働的な学びを進めるために、ICTを効果的に活用したグループ学習や課題探究活動、プレゼンテーション活動などを、「総合的な探究の時間」を始めとした各教科の学習に取り入れます。 ③ 地元の行政機関や大学、企業等と連携して、地域を知り、地域に貢献し、さらに全国的、世界的な視野をもてるような活動を教科等横断的に行います。 ④ 生徒の主体的な活動を支援し、多様な人や考え方と接する機会をつくるために、生徒会活動や学校行事等を充実させます。			
教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	① 全日制普通科の高等学校として、生徒一人ひとりの多様な進路に対応するために、知・徳・体のバランスのとれた総合的な力をつける教育活動を展開します。 ② 協働的な学びを進めるために、ICTを効果的に活用したグループ学習や課題探究活動、プレゼンテーション活動などを、「総合的な探究の時間」を始めとした各教科の学習に取り入れます。 ③ 地元の行政機関や大学、企業等と連携して、地域を知り、地域に貢献し、さらに全国的、世界的な視野をもてるような活動を教科等横断的に行います。 ④ 生徒の主体的な活動を支援し、多様な人や考え方と接する機会をつくるために、生徒会活動や学校行事等を充実させます。			
入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	① 一人ひとりの価値観を大切に、優しく思いやりのある生徒 ② 知的好奇心と創造的資質を高め、主体的に学びつづける生徒 ③ 地域の持続的発展に寄与し、社会に貢献する意欲のある生徒			
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的目標		
①生徒の自己実現と進路実現に向け、組織的、体系的な体制づくりの改善を図る。 ②大学、企業等の外部機関との連携を推進し、生徒の対話力や表現力の育成を図る。 ③部活動や学校行事の在り方を継続して見直しを図る。	○ICT機器を用いて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実する。	(1) 進路希望の確立に向けて基礎学力の向上 ・個別最適な課題を配信し、家庭学習の充実を図る ・協働的な学習を取り入れ、対話力、表現力の向上を図る		
	○教育活動をととして主体性、協働性、対話力の育成を図る。	(2) 表現力の向上を目指すキャリア教育の推進 ・総合的な探究の時間、LHRや生徒会活動の充実		
	○自他の良さを認め、協働して自律的に活動する力を育成する。	(3) 豊かな人間性の育成に向けた地域との連携 ・授業公開や学校行事で開かれた学校づくりを推進 ・PTAや地域の中学校、大学、企業等との連携推進		
	○勤務時間の適正な管理や業務を見直し、時間外勤務を削減する。	(4) 働き方改革推進 ・学校閉庁日の設定 ・学校行事や部活動時間の精選、諸会議の削減		
重点目標	具体的目標	具体的方策		評価
学習指導	始業前10分間の充実	・朝読書を通じて、本に親しみ、読解力の育成と集中力を身に付けさせるとともに、定刻前着席や落ち着いた学習態勢を作り出す。 ・読書の他に、小テストなどを行い、基礎学力の定着に活用する時間としても利用する。		
	効果的な年間計画	・年間の行事や授業を効果的に組み込み、効率よく学習を行えるような計画を立て、見直し修正を行っていく。		
	中高間の連携	・ICT活用推進委員会、ICT推進委員で連携をとり、研修の実施を通して効果的な活用方法を学ぶ。		
	可能性を広げるため	・授業、朝読書を通して、様々な分野に関心を広げる。		

進路指導	の、基礎学力及び自己表現力の向上	・進路ガイダンス及び進路講演会、1年生全員参加の新潟大学オープンキャンパスなどの進路行事を計画実施する。		
	進路の方向性を深める	・進路ガイダンス及び進路講演会、1年生全員参加の新潟大学オープンキャンパスなどの進路行事を計画実施する。		
		・オープンキャンパス、企業見学、看護・医療・福祉体験など各種体験の主体的な参加を促す。 ・個別面談およびLHRなどでの進路調べ学習や進路適性検査を適宜実施する。		
	希望進路達成に向けて保護者との連携及び補充的学習	・進路の手引きや学年便りの発行、保護者説明会を通して情報提供を行う。		
・保護者面談や三者面談などを活用して、保護者の考えと生徒の考えの相違について理解を深める。 ・放課後補習、個々の適性・希望に応じた個別学習指導の充実を図る。				
生活指導	家庭・地域との連携を深める	・保護者との連絡を密にして、欠席や遅刻、早退等の連絡を徹底する。また生徒の状況を常に家庭と共有し、連携して指導する体制を作る。		
		・柏崎地区生徒指導連絡協議会に参加し情報交換を行う。		
		・学校評議員会や地域の声を聞く会等で広く意見や情報をいただき指導に活かす。		
	基本的な生活習慣の確立を図る	・問題行動の防止に向けた取組を組織的かつ継続的に実施する。		
・学期毎の頭髪服装検査に加え、全職員で身だしなみの指導を行う。 ・職員から積極的に挨拶を行い、自ら挨拶できる生徒を育てる。				
交通マナーやルールを遵守し、交通安全意識の高揚を図り、交通事故ゼロを目指す	・登校時の立哨指導や駐輪指導、全校集会等を通して交通安全意識を高める。			
	・適宜交通安全に関するポスターやチラシを配付・利用して交通ルールやマナーの遵守を呼びかける。			
生徒会	生徒会活動の活性化	・活発な生徒会行事を展開する。		
		・生徒会行事の企画・立案・運営にて全校生徒の参画を高める。 ・他校との交流・情報交換を深める。		
	部活動の活性化	・積極的な加入をすすめ、部活動加入率の向上を図る。 ・日常活動や大会等への積極的な参加を促し、活動の活性化を図る。		
開かれた学校づくり		家庭・地域との連携の充実を図る	・「地域の声を聞く会」等での意見を汲み取れる態勢づくり。	
	・様々な場面でのPTAと連携した活動の充実化。 ・学級便りやメール配信システムなどを利用した、家庭と学校の連携強化。			
	本校情報の広報活動の充実を図る	・ホームページの一層の充実化。		
・中学校との連携を見すえた授業公開の拡充。 ・より一層の学校行事等の地域への広報。				
成果			総合評価	